

普通の人に天才の閃きを与える。

戦略作りに役立つ発想法

代表的な発想法と整理法を研修で習得する。

参加者が主体的に研修を作り上げる

1. 「問題の組み立て」を正確にできる。
2. 「発想法」を学び、視点豊かな戦略、戦術(案)を構想する。
3. 「整理法」を学び、企業経営の判断、執行を誤らない。

学ぶ(受身)でなく、自ら考える(自発的)人材をつくる。

【研修方法 1】 1泊2日の課題検討会を含む研修
(1) 1日目 午前10時から午後5時
(2) 2日目 午前9時から午前12時

【研修方法 2】 1日研修 午前10時から午後5時

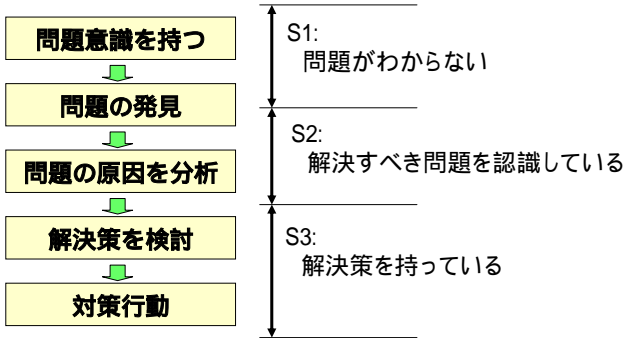
エンジニアリング・ブランドを構築するための研修

(株)イー・ブランド21 (eBrand21) は、創業以来、「エンジニアリング・ブランド」というジャンルで、「技術と経営の融合をめざす」ユニークな経営コンサルを続けてきた会社です。今回、新たに弊社が開催する「実践MOT研修」は、主にエンジニアが学ばなければならないマネージメントを、技術者が新しい時代をリードするための「技術マネージメント」を学習するための研修会です。

(ワークショップの詳細内容は裏面をご覧ください)

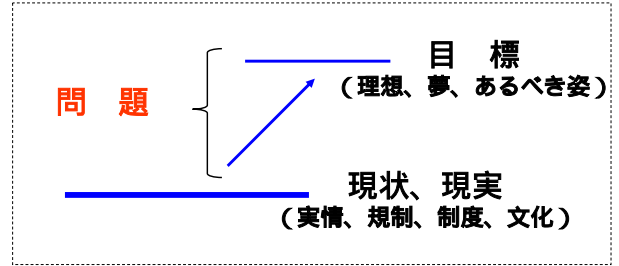
1.2 参加者の問題意識を確認

検討プロセスのどの段階にあるのか



1.3 問題とは何か

問題とは、
目標（理想、夢、あるべき姿）とのギャップ



1.5 OUTPUT目標を決める



2.1 発想法を学ぶ目的

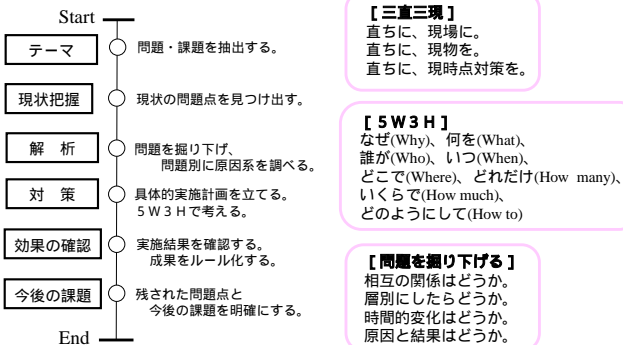
1. アイデア発想は、誰にでもできる

- アイデア発想には、様々な方法がある。
- 多人数でやることも、自分一人でもできる。
- 漠然と考える 2から3個 - > 10倍~100倍
- 普通の人 - > 天才の閃き

2. 発想法にはコツがある

3. アイデアの数は、多ければ多いほどよい

3.1 問題解決の手順



3.4 優先順位を設定する

整理したものを次の要素に従って優先区分を行う。

1. 重要度

問題がどれほど重要な意味をもっているか。

2. 緊急度

問題可決をはかるのにどれほどの時間的余裕があるのか。

3. 拡大傾向

その問題は、拡大していく傾向があるのか。

ご挨拶

会社をイノベーションするには、そこに働く人を変えることから

変革の時代には、変革を見通した事業戦略作りが求められる。天才とて、日々の努力なしに業績を上げることはできない。本研修の目的は、発想法、整理法を学習するとともに、簡単な演習やケース課題をこなしながら「頭脳を使って戦うことのできる企業戦士」へと変身させる研修会である。

演習テーマとして、任意の検討課題を設定することで良く、企業が取り組まなければ課題を実際にあげ、その原因分析や問題の解決の手順など、OJT的な取り組みが可能である。

本研修は、同一企業の悩みを抱える集団を対象とすることとする。